

平成19年度活動報告

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

1. 平成19年度活動の基本方針

個人の生活や企業活動という身近な生活・地域社会に対して、地球温暖化防止と持続可能な地域社会の構築をめざし、新エネルギーの技術開発、普及活動及び技術支援等、CO₂排出権取引等の温暖化防止メカニズムの研究および普及促進等の事業を行い、地域社会の経済振興と地球環境保全の推進に寄与することを方針とする。

その1 地域に根ざした循環型の新エネルギーでCO₂抑制に寄与

その2 CO₂排出権取引をはじめ、あたらしいメカニズム・システムの開発・普及

その3 市民、企業等の緑化推進・循環型社会構築等に関わる社会貢献活動の普及・促進

平成19年度は、昨年度行われた事業を今年度も引き続き行い、温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業や、技術支援・調査、研究活動事業などを通じて、本NPOができる活動範囲を広げる。さらに、長野市の社会教育・環境教育施設の管理運営・業務、国土交通省の道路情報提供施設の受託を引き続き行い、継続的な普及啓発活動を展開する。

2. 平成19年度の事業実績概要

今期は、設立から5年目を迎え、昨年度に引き続き指定管理者プロジェクトにおいて2施設の指定管理者を行うとともに、エコドライブプロジェクトやエコシティプロジェクトなど新規の事業も実施して、さらに事業の幅を広げることができた。関係機関等外部協力者の連携をはじめ、事業や普及啓発活動において、臨機に対応を検討しながら、成果を残すことができた。

昨年に引き続き指定管理者として運営しているリサイクルプラザに5名の常勤スタッフを配置したほか、東和田情報ステーションに3名、事務局アシスタントに1名の計9名の有給雇用職員（パート勤務含む）の体制とした。また、年度末に東和田情報ステーションの事業が終了したため、1名をリサイクルプラザに、1名は事務局にそれぞれ配属を変更し、1名は退職となった。また、経理担当として新たに1名を採用した。

(参考1 会員現況 平成20年6月10日現在)

1. 正会員（個人会員）	19名
2. 正会員（法人会員）	12社
3. 一般会員	2名
4. 賛助会員	0名
5. アドバイザー会員	9名

合計 43名（法人会員代表を含めて51名）

※正会員（個人会員）4名増、正会員（法人会員）1団体増であった。

(参考2 法人会員について)

- ①法人会員については、その法人に属する5名まで名簿に記載することができます。
- ②法人会員の議決権は1法人あたり、申し込み時に登録した代表者の1票とします。
- ③当NPO法人と業務委託等の契約を行う場合は、登録された会員名を基本とします。したがって、会社等の組織と契約を締結するには、法人会員であることを原則とします。

3. 活動の成果

今年度は、(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業、(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業、(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業、(4) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣、(5) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業、(6) 公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業、の6事業を行った。

それぞれの内容について、事業ごとに整理する。

(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業

ながの環境フェア 2007 や信州環境フェア 2007 などのイベントに、雨水循環利用、自然エネルギー利用、県産材を利用した家づくりなどの展示物を出展して、地球温暖化防止対策に関する普及啓発活動を行った。また、エコマラソン 2007 長野のPRを兼ねて、信州大学で開催された「青少年のための科学の祭典」に出展ブースを設置し、エコカーの展示や曲線を使った物理実験などを行い、多くの参加者に好評を得た。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2007/9/9	ながの環境フェア2007	長野市清掃センター	指定管理者 プロジェクトにて (全参加者 5,000 名)
2007/7/9 ~7/10	信州環境フェア2007	ビックハット (長野市若里多目的 スポーツアリーナ)	展示ブース来場者 200 名
2006/12/21 ~展示中	ペレットストーブ・ペレットに関するパネル提供 (長野市森林整備課) 2008 年 3/25 にパネル更新	長野市役所第二庁舎 1 階ロビー	森のエネルギー 推進プロジェクトにて
2007/8/10 ~8/11	青少年のための科学の祭典	信州大学教育学部	展示ブース来場者 100 名

(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業

○県産材利用プロジェクト

今年度は信州環境住宅「たまりの家」を企画し、県産材利用や環境に配慮した家づくりに関する普及啓発を行った。この住宅は信州省エネモデル住宅設計コンペの優秀作品に選出された。また、長野県建設部が進める地域循環型住宅産業活性化事業の産業グループに認定された。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2007/12/23	信州環境住宅「たまりの家」 完成見学会	たまりの家（長野市）	参加者 30 名
2008/3	信州型エコ住宅 「ふるさと信州・環の住まい」認定 (地域循環型住宅産業活性化事業の 産業グループ)	—	—

○エコドライブプロジェクト

車の保有台数が多い長野県における運輸部門のCO₂削減を目指し、エコカーの活動をきっかけに、エコドライブなどの知識を身につけ、貴重な石油資源の有効活用と地球温暖化防止を実践していこうと、『エコマラソン2007長野』を開催した。今年度が第1回となる長野大会では、全国大会の燃費競技に準拠して燃費計測会を行った。また、みんなで地球温暖化防止を実践するように、エコドライブ体験、環境と調和したまちづくり展などを同時開催し、大勢の参加があった。

この事業はSBC信越放送と協働で取り組む環境省の『平成19年度 地球温暖化防止に係る国民運動におけるNPO・NGO等の民間団体とメディアとの連携支援事業』であり、当NPOがイベントを運営し、その広報活動（CM）や、イベントを題材にした番組の製作・放映をSBCが行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2007/9/14 ～9/15	エコマラソン 2007 長野	アクアパル千曲 長野市青少年錬成センター	参加者 350 名
2007/7/25 ～2/14	東和田情報ステーション展示	東和田情報ステーション	参加者 1,730 名 (140 日間)

OECD（持続可能な開発のための教育）・環境教育プロジェクト

昨年度に引き続き、国立長野高専・信州まち育て研究会と協働で行う共同研究事業であり、長野市青少年錬成センターを活動拠点として、ビオトープ池の管理や里山の手入れなどの環境学習を行った。これらの活動を通じて、参加者が長野の森林を身近に感じ、そして後世に継承する大切な資源であることを実感するとともに、森林保全に向けた普及啓発を行った。本事業に関する講師派遣については、「(4) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣」の項目でまとめている。

(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業 ONPO活動促進プロジェクト

地域や自然環境の保全などに取り組むNPO活動を支援するための助成制度に応募し、2件が採択された。この2件は平成19年度事業として実施した。各事業の実施内容については、各事業の該当する項目で説明する。

①平成19年度 地球温暖化防止に係る国民運動におけるNPO・NGO等の民間団体とメディアとの連携支援事業

※SBC信越放送との協働で事業を実施

申請先：チーム・マイナス6%運営事務局 連携支援事業係

テーマ：「エコマラソン2007長野」

内容：エコカーに触れる機会の少ない長野県において、走るエコカーを「見て」「体験」でき、参加者にエコカーやエコドライブに対して関心を持っていただくイベント「エコマラソン2007長野」を開催する。このイベントでは、エコカーの活動をきっかけに、エコドライブなどの知識を身に付け、貴重な石油資源の有効活用と地球温暖化防止を実践していくことを目的とする。

イベントでは、県内で活動する団体同士が自分たちで製作したマシンの燃費を競う燃費競技「エコマラソン」の開催をはじめ、「エコドライブ講習」「エコカーを体験しよう」「中学生の軌跡」「エコまち・モビリティ」などエコカー・エコドライブに関する様々な企画を展開してイベントを盛り上げる。

実施日：平成19年9月14日～9月15日

②平成19年度 地球温暖化防止活動支援補助金

申請先：長野県地球温暖化防止活動推進センター

テーマ：「省エネルギーによる地球温暖化防止活動」「森づくりによる地球温暖化防止活動」「自然エネルギーの利用促進による地球温暖化防止活動」

内容：エコカーの活動を通じて石油資源の可能性と大切さを考えるとともにエコドライブなどの知識を身につける「エコマラソン2007長野」や、小田切の里山をフィールドとした森の機能やつきあい方を考える環境学習会、バイオマスエネルギー利用など自然エネルギーを見て、知って、体験する会など、地球温暖化防止活動の普及啓発に繋がるイベント等を実施する。

実施期間：平成18年8月1日～平成19年3月31日

(4) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣

長野国道事務所で開催された長野県移動性・安全性向上検討委員会に理事長が委員として出席したほか、長野市青少年錬成センターで開催された自主事業イベントや、高原学校の環境学習の講師を派遣し、活動支援を行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2007年度	長野県移動性・安全性向上検討委員会	国土交通省関東地方整備局 長野国道事務所	委員として 出席1名
2007/5/26	春ふれあい自然体験教室 講師	長野市青少年 錬成センター	講師として 出席2名 参加者58名
2007/6/07	共和小学校（高原学校）	長野市青少年 錬成センター	講師として 出席2名 参加者80名
2007/7/13	皐月高校環境学習会	長野市青少年 錬成センター	講師として 出席2名 参加者9名
2007/7/19	若槻小学校（高原学校）	長野市青少年 錬成センター	講師として 出席2名 参加者111名
2007/7/6	夏ふれあい自然体験教室 講師	長野市青少年 錬成センター	講師として 出席1名 参加者34名
2007/10/20	秋ふれあい自然体験教室 講師	長野市青少年 錬成センター	講師として 出席1名 参加者65名
2008/1/18	冬ふれあい自然体験教室 講師	長野市青少年 錬成センター	講師として 出席1名 参加者89名
2008/1/18	皐月高校環境学習会	東和田情報ステーション	講師として 出席2名 参加者9名

※長野市青少年錬成センターへの講師派遣については、(6)②指定管理者プロジェクトの一環として実施した。

(5) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業

①雨水循環利用プロジェクト

昨年度に引き続き、雨水循環利用の普及啓発活動を実施した。今年度は、雨水利用装置を長野市内に3セット販売・設置を行った。また、7月16日に発生した新潟県中越沖地震の復興に役立ててもらおうと、『お手軽ジェットポンプ』を国立長野高専（機械工学科 戸谷研究室）と合同で提供した。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2007年度	雨水タンクの設置	長野市内3箇所	
2007/7/20	雨水タンク送付（新潟地震被災地）	新潟県中越沖地震被災地	アドバイザー会員である戸谷教授と合同で提供

②森のエネルギー推進プロジェクト

化石燃料に替わる木質系バイオマスであるペレットと、これを利用するストーブの普及による森と街を資源循環でつなぐことを目指し、普及啓発活動を行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2007年度	ペレット販売	CO2バンク推進機構事務局	1157袋

③ながのエコシティプロジェクト【新規】

“地域の創意工夫によりエコロジー環境を創ることが持続可能な環境保全活動につながる”このような環境と経済の好循環を実現するため「ながのエコシティプロジェクト」は、長野市環境部との合同企画として、環境省の平成19年度「環境と経済の好循環のまちモデル事業」の地域として全国7地域の1つとして選定された。

この事業は、当団体・市民団体・環境団体・行政・等で構成される「まちづくり協議会【ながのエコシティプロジェクト推進協議会】」によって推進されている。

この事業により太陽光発電やペレットストーブ・薪ストーブの導入に対して助成金が協議会を經由して支給されることになっているが、年度末の事業であるため、次年度に繰り越して実施する。

○太陽光市民発電所の設置

市民参加で自然エネルギー利用のモデル「フラッグシップ」となる発電所。長野市内の事業所や公共施設に太陽光発電パネルと発電システムを2つの運営方法によって設置。

○森のエネルギー利用を推進

薪ストーブ、ペレットストーブの導入を支援し、そのユーザーをはじめとする多くの市民が森作りに参加し、森林保全に取り組みながら再生可能エネルギーである木質資源の活用を進める。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2008/2～	フラッグシップ事業 ・温暖化防止ながのファンド管理 ・太陽光発電所設置事業	長野市内	
2008/2～	森のエネルギー推進事業 ・森のエネルギー推進管理費 ・バイオマスストーブ設置助成	長野市内	

(6) 公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業

①東和田情報ステーションプロジェクト（業務委託）

昨年度に引き続き、今年度も国土交通省関東地方整備局長野国道事務所管内の東和田情報ステーション（長野市東和田 854-1）において、施設管理を行った。今年度は施設管理の業務について、3名の研究員スタッフを東和田情報ステーションに派遣し、交替で1年間の常駐勤務を行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	摘要
2007/4/1 ～2008/3/31	東和田情報ステーション管理及び活用検討業務	施設管理は、スタッフ3名の派遣

②指定管理者プロジェクト

本NPOの事業目的である、「公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う」を実践するため、昨年度から2施設の指定管理者として、公共施設の利用促進・利用者へのサービス向上を目指し、NPOと行政機関との協働で維持・管理・運営を行った。長野市リサイクルプラザ（リフレッシュプラザ）はCO2バンク推進機構単独、長野市青少年錬成センターは共同事業体 信州地域ネットワーク・プロジェクト（代表：信州林業株式会社ほか4社）である。

また、長野市青少年錬成センターを拠点とした小田切地区の地域資源と人的ネットワーク構築に向けた実践活動として、国立長野高専技術振興会「信州まち育て研究会」との協働により、里山観察会やビオトープ池の観察会等の活動を昨年度から引き続き行っている。

(1) 長野市青少年錬成センター

長野市青少年錬成センターは、小田切の美しい自然の中で、子どもたちに様々な活動の場を提供している。施設は、キャンプ場・体育館・グラウンド・音楽室・宿泊施設などがあり、スポーツ団体・育成会・小学校の高原学校などに利用していただいている。また、年間29回の自主事業を開催し、「自然体験」「地域交流」「世代間交流」などのレクリエーション・環境学習を提供している。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2007/4/1 ～2008/3/31	施設利用者	長野市青少年錬成センター	延べ利用者数 19,311名
2007/5/19 ～2008/3/10	自主事業 計29回	長野市青少年錬成センター	参加者計1,400名

(2) 長野市リサイクルプラザ

長野市リサイクルプラザは、リサイクルの情報発信地として、情報コーナー・レインボー広場などのごみの減量・再利用の情報、体験講座・教室などの提供、年間6回行うリサイクル広場などの不用品の展示・提供、さらにリサイクルを推進する市民グループ（リサイクル連絡会）の活動の場を提供している。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2007/4/1 ～2008/3/31	施設利用者	長野市リサイクルプラザ	利用者総数 23,477名
2007/4/2 ～2008/3/27	ボランティア団体利用 (リサイクル連絡会 13グループ)	長野市リサイクルプラザ	利用者 1,042名
2007/4/6 ～2008/3/18	ゆめ工房 21 体験講座 (6グループで 38回開催)	長野市リサイクルプラザ	参加者 619名
2007/6 2008/2	着物のリフォーム教室 (4週連続の日曜日)	長野市リサイクルプラザ	参加者 114名
2007/5, 7, 9, 11 2008/1, 3	リサイクル広場 (奇数月に 6回開催)	長野市リサイクルプラザ	利用者 3,261名
2007/4/21 ～2008/3/22	自主事業 18回開催 (出前講座 3回、長野市協働講座 1 回、展示・アート展各 1回)	長野市リサイクルプラザ	参加者 3,261名
2008/2/3 ～2008/2/11	『廃材アート 2008』 廃材を利用したごみ減量化（環境） へのメッセージ	長野市リサイクルプラザ	参加者延べ 311名
2007/5, 6, 9, 10	フリーマーケット 4回開催 (共催)	長野市リサイクルプラザ	参加者 5,600名
2007/9/9	ながの環境フェア 2007 開催 (共催)	長野市リサイクルプラザ	参加者 5,000名

『廃材アート 2008』 廃材を利用したごみ減量化（環境）へのメッセージ

使われなくなったものや、日頃捨ててしまうものなどに対するリサイクルの普及・促進として、身近な廃材に、新たに命を吹き込みながら、環境について改めて考えるひとつのきっかけとなることを目的として「廃材アート 2008」を開催した。2月3日から11日まで出展者 28名、出展作品 45点で開催し、延べ 313名の見学者となった。

長野市リサイクルプラザでの開催のほか、東和田情報ステーション、長野市役所と会場を移動しての展示としたが、不用品を使つての作品が新鮮であり、どの会場でも反響が多く好評であった。